



第2期(2010年3月期)決算 について

2010年5月26日

第2期(2010年3月期)決算について

1. 決算サマリー(単体)	・・・ 3
2. 損益計算書(単体)	・・・ 4
3. 貸借対照表(単体)	・・・ 5
4. 業務別損益概況(単体)	・・・ 6
5. クレジットコスト・投資損益(単体)	・・・ 7
6. 不良債権の状況(単体)	・・・ 8
7. 金融再生法開示債権の保全状況(単体)	・・・ 9
8. 連結損益計算書・連結貸借対照表	・・・ 10
9. 金融商品の時価開示について(連結)	・・・ 11
10. 金融危機対応業務にかかる実績について	・・・ 12

第2期(2010年3月期)決算について

1. 決算サマリー（単体）

①概況

- ◆業務粗利益は、残高拡大による資金利益の増加等により1,199億円。
- ◆与信関係費用は、貸倒引当金繰入、貸出金償却等により41億円。
- ◆株式等関係損益は、大口案件に関する株式償却等により△222億円、ファンド関連損益は、△35億円。
- ◆この結果、2009年度決算は、経常利益516億円、当期純利益398億円の黒字を計上。

②危機対応業務の影響

- ◆2010/3末時点の貸出金残高は、2009/3末より1兆5,113億円増加の13兆5,380億円。

③配当について

- ◆定時株主総会決議及び財務大臣認可後、配当実施予定。

④財務健全性の確保

- ◆自己資本比率：18.80%
[単体・BaselⅡ基準、速報値]
- ◆2010/3期に、2回にわたり計1,811億円の政府出資による増資を実施。

	(単位：億円)	2008/9期 (6ヵ月決算)	2009/3期 (6ヵ月決算)	中間期	2010/3期 (12ヵ月決算)
業務粗利益		470	461	787	1,199
業務純益（一般貸引繰入前）		308	309	628	882
業務純益（一般貸引繰入後）		61	△ 729	628	882
経常利益（△は経常損失）		△ 294	△ 1,189	550	516
当期純利益(△は当期純損失)		△ 276	△ 1,292	469	398
与信関係費用(△は益)		471	1,222	△ 127	41
株式等関係損益（△は損失）		△ 169	△ 120	△ 6	△222
ファンド関連損益（△は損失）		53	△ 127	△ 37	△35
合 計		△ 116	△ 247	△ 44	△258

(注) 2008/9期は、旧DBJの決算数値であります。

	(単位：億円)	2008/9末	2009/3末	2009/9末	2010/3末
貸出金残高		112,946	120,266	131,184	135,380
総資産		122,885	140,174	149,655	155,672
B I S 比率（自己資本比率）		21.28%	18.70%	19.29%	18.80%
同Tier1比率		25.70%	22.99%	24.40%	23.59%

(注) 2008/9末は、旧DBJの残高及び比率であります。

2. 損益計算書（単体）

(単位：億円)		2008/9期 (6ヵ月決算)	2009/3期 (6ヵ月決算)	中間期	2010/3期 (12ヵ月決算)
1	業務粗利益	470	461	787	1,199
2	資金利益	491	517	596	1,193
3	役務取引等利益	29	44	58	147
4	その他業務損益	△ 50	△ 100	131	△ 141
5	営業経費	△ 162	△ 152	△ 158	△ 317
6	業務純益（一般貸引繰入前）	308	309	628	882
7	一般貸倒引当金繰入額（△は繰入）	△ 247	△ 1,038	—	—
8	業務純益（一般貸引繰入後）	61	△ 729	628	882
9	その他臨時損益（△は費用）	△ 355	△ 460	△ 78	△ 365
10	不良債権関連処理損失	△ 242	△ 216	△ 19	△ 87
11	株式関係損益	△ 169	△ 120	△ 26	△ 231
12	その他	55	△ 123	△ 32	△ 45
13	ファンド関連損益	53	△ 127	△ 37	△ 35
14	経常利益（△は経常損失）	△ 294	△ 1,189	550	516
15	特別損益	17	32	167	△ 10
16	貸倒引当金戻入益・取立益	17	33	146	45
17	投資損失引当金戻入益	—	—	20	9
18	本店移転損失引当金繰入額	—	—	—	△ 65
19	税引前当期純利益 （△は税引前当期純損失）	△ 276	△ 1,157	717	506
20	法人税等	—	△ 135	△ 248	△ 107
21	当期純利益（△は当期純損失）	△ 276	△ 1,292	469	398

(注) 2008/9期は、旧DBJの決算数値であります。

①業務粗利益

- ◆資金利益は、残高拡大による利息収入の増加等により1,193億円に伸長。
- ◆役務取引等利益は、出融資手数料を中心に147億円に増加。
- ◆その他業務損益は、CDSの時価回復による評価益もあったが、不動産関連私募債の評価減等により△141億円。

②与信関係費用

- ◆不良債権関連処理損失は、貸倒引当金繰入、貸出金償却等により△87億円。
- ◆特別利益として償却債権取立益45億円。

③株式関係損益・ファンド関連損益

- ◆株式関係損益は、大口案件を中心とする株式償却により△231億円。
- ◆ファンド関連損益は、△35億円。
- ◆特別利益として投資損失引当金戻入益9億円。

④その他

- ◆再開発に伴う本店ビル移転に関連する引当金繰入△65億円。

⑤当期純利益等

- ◆2010/3期決算は、経常利益516億円、当期純利益398億円の黒字を計上。

	2008/9期 (6ヵ月決算)	2009/3期 (6ヵ月決算)	中間期	2010/3期 (12ヵ月決算)
貸出金等利回り	2.38%	2.30%	2.18%	2.14%
外部負債利回り	1.83%	1.65%	1.51%	1.47%
利幅	0.55%	0.65%	0.67%	0.67%
営業経費率	0.32%	0.30%	0.27%	0.26%
利鞘	0.23%	0.36%	0.41%	0.41%

(注) 2008/9期は、旧DBJの決算数値をもとに計算しております。

3. 貸借対照表（単体）

(単位：億円)		2009/3末(A)	2009/9末	2010/3末(B)	増減(B)-(A)
1	現金預け金	583	804	1,283	699
2	有価証券	12,266	13,542	12,814	547
3	貸出金	120,266	131,184	135,380	15,113
4	有形固定資産	1,623	1,622	1,621	△ 2
5	支払承諾見返	1,602	1,658	1,951	348
6	貸倒引当金	△ 2,738	△ 2,579	△ 2,005	732
7	その他	6,568	3,423	4,627	△ 1,941
8	資産の部合計	140,174	149,655	155,672	15,498
9	債券・社債	35,130	36,204	37,463	2,333
10	借入金	80,648	87,408	90,794	10,145
11	その他	3,636	3,781	4,418	781
12	負債の部合計	119,415	127,394	132,676	13,260
13	資本金	10,000	11,032	11,811	1,811
14	資本剰余金	11,577	10,604	10,604	△ 972
15	利益剰余金	△ 972	469	398	1,370
16	評価・換算差額等	153	154	180	26
17	純資産の部合計	20,758	22,260	22,995	2,237

①資産

- ◆総資産は、15兆5,672億円に増加。
- ◆有価証券は、国債・社債・優先株を中心に1兆2,814億円に増加。
- ◆貸出金は、危機対応業務に伴い13兆5,380億円に増加。
- ◆貸倒引当金は、大口の償却処理などにより732億円減少。
- ◆その他は、買現先縮小などにより△1,941億円減少。

②負債・純資産

- ◆債券・社債、借入金とも運用拡大に伴う調達増加により増加。

③純資産

- ◆増資1,811億円、当期純利益398億円等により2,237億円増加。

(参考) 株主資本等変動計算書

(単位：億円)		2009/3末	2010/3期変動額				2010/3末
			増資	剰余金振替	当期純利益	その他	
1	資本金	10,000	1,811	1,811	—	—	11,811
2	資本剰余金	11,577	△ 972	—	△ 972	—	10,604
3	利益剰余金	△ 972	1,370	—	972	398	398
4	株主資本	20,604	2,209	1,811	—	398	22,814
5	評価・換算差額等	153	26	—	—	—	180
6	純資産合計	20,758	2,237	1,811	—	398	22,995

4. 業務別損益概況（単体）

- ◆融資業務については、融資損益が残高拡大等により伸長する一方、償却・引当が全体として縮小し、832億円の黒字となった。
- ◆投資業務については、大口案件の株式償却等により、230億円の赤字となった。

(単位：億円)		2009/3期 (6ヵ月決算)	中間期	2010/3期 (12ヵ月決算)	説明概要
1	融資業務	△ 706	703	832	
2	融資損益	544	584	1,210	残高拡大による資金利益の増加等により伸長。
3	償却・引当（ネット）	△ 1,251	118	△ 377	不動産関連私募債の評価減が嵩んだが、全体としては損失は縮小。
4	投資業務	△ 242	△ 23	△ 230	
5	投資損益	△ 90	△ 35	△ 26	ファンド関連損益を中心に損失は縮小。
6	償却・引当（ネット）	△ 152	11	△ 204	大口案件に関する株式償却を実施。
7	役務取引等収支	44	58	147	出融資手数料収入が増加。
8	その他業務収支	△ 99	132	148	CDSについて市場が落ち着きを取り戻し評価損益が改善。
9	営業経費	△ 152	△ 158	△ 317	営業経費はほぼ横這いに推移。
10	その他損益(臨時損益等)	△ 0	5	△ 75	再開発に伴う本店ビル移転に関連する引当金△65億円を計上。
11	税引前当期純利益 (△は税引前当期純損失)	△ 1,157	717	506	
12	法人税等	△ 135	△ 248	△ 107	法人税等107億円を計上。
13	当期純利益(△は当期純損失)	△ 1,292	469	398	

（注）業務分野の区分表記につきましては、経営管理上のものです。

5. クレジットコスト・投資損益（単体）

(単位：億円)		2009/3期 (6ヵ月決算)	中間期	2010/3期 (12ヵ月決算)
1	与信関係費用	△ 1,222	127	△ 41
2	貸倒引当金繰入(△) または戻入	△ 1,226	138	△ 36
3	偶発損失引当金繰入	—	—	△ 28
4	貸出金償却	△ 25	△ 19	△ 24
5	償却債権取立益他	29	8	46
6	株式・ファンド関係損益	△ 247	△ 44	△ 258
7	株式等関係損益	△ 120	△ 6	△ 222
8	投資損失引当金繰入 (△)または戻入	△ 42	20	9
9	株式等償却	△ 109	△ 8	△ 213
10	株式等売却損(△)益	32	△ 18	△ 18
11	ファンド関連損益	△ 127	△ 37	△ 35
12	ファンド関連利益	37	32	70
13	ファンド関連損失	△ 164	△ 70	△ 105

①与信関係費用

- ◆与信関係費用は全体で△41億円。
- ◆貸倒引当金は差引△36億円を繰入。
- ◆コミットメントラインに対する偶発損失引当金△28億円を繰入。
- ◆貸出金償却は△24億円。
- ◆償却債権取立益45億円を特別利益に計上。

②株式・ファンド関係損益

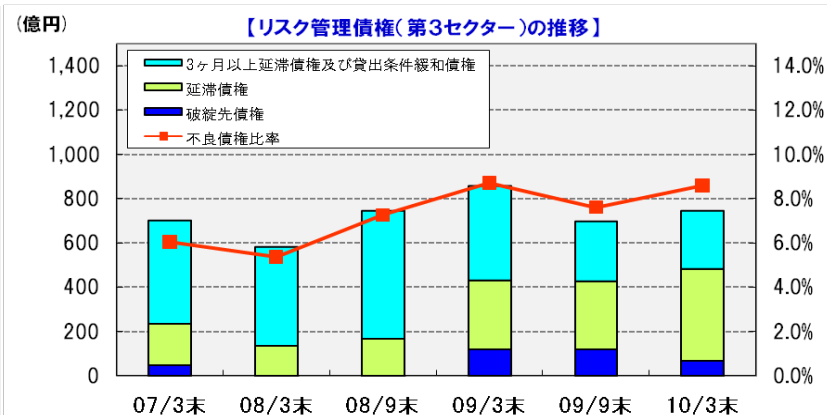
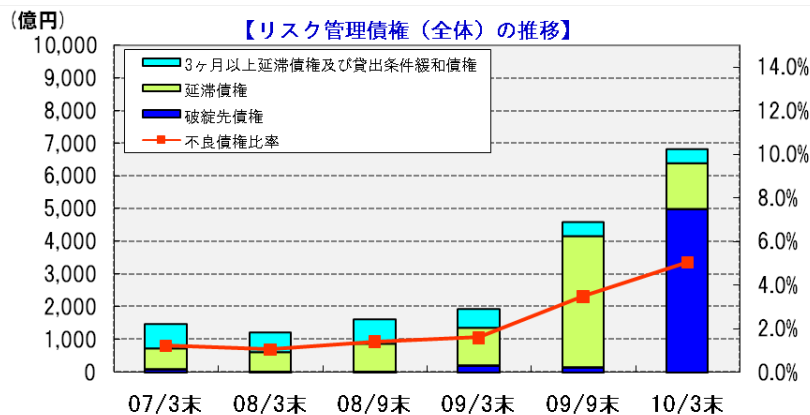
- ◆株式・ファンド関係損益は全体で△258億円。
- ◆株式等関係損益は大口案件他の株式等償却△213億円を中心に△222億円の赤字。
- ◆ファンド関連損益は通期で△35億円と中間期計上の損失幅にとどまる。

6. 不良債権の状況(単体)

- ◆ リスク管理債権残高、同不良債権比率ともに、一部与信先の残高増加等により、2009/9末比増加。
- ◆ 第3セクター向け債権については、昨今の経済情勢等の影響から同リスク管理債権が2009/9末比から微増。同貸出金残高が減少したため、同不良債権比率も2009/9末比上昇。

(単位：億円)		2009/3末	2009/9末(A)	2010/3末(B)	増減 (B)-(A)
	破綻先債権	189	129	4,976	4,847
	延滞債権	1,137	4,007	1,407	△ 2,599
	3ヶ月以上延滞債権 及び貸出条件緩和債権	568	433	437	3
	リスク管理債権 (A)	1,895	4,569	6,821	2,251
	貸出金残高 (B)	120,266	131,184	135,380	4,196
(A)／(B)		1.58%	3.48%	5.04%	1.55%

セ ク タ ー 3	リスク管理債権 (C)	860	701	749	47
	貸出金残高 (D)	9,888	9,213	8,719	△ 493
	(C)／(D)	8.71%	7.61%	8.59%	0.98%



7. 金融再生法開示債権の保全状況(単体)

- ◆金融再生法開示債権残高、同不良債権比率ともに、一部与信先の残高増加等により、2009/9末比増加。なお、同不良債権比率は4.97%（2009/9末：3.44%）。
- ◆金融再生法開示不良債権に対する保全率は引き続き高水準を堅持。

①金融再生法開示債権の状況（部分直接償却実施後）

(単位：億円)	2009/3末	2009/9末(A)	2010/3末(B)	増減 (B)-(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	211	141	5,023	4,882
危険債権	1,154	4,033	1,380	△ 2,653
要管理債権	568	434	437	4
開示債権合計	1,933	4,608	6,841	2,233

②保全率

(単位：%)	2009/3末	2009/9末(A)	2010/3末(B)	増減 (B)-(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.0	100.0	100.0	0.0
危険債権	99.5	100.0	100.0	0.0
要管理債権	89.1	92.3	88.5	△3.7
開示債権合計	96.5	99.3	99.3	△0.0

③その他債権に対する引当率

(単位：%)	2009/3末	2009/9末(A)	2010/3末(B)	増減 (B)-(A)
要管理債権以外の要注意先債権	31.1	8.8	11.0	2.3
正常先債権	0.1	0.0	0.1	0.0

8. 連結損益計算書・連結貸借対照表

- ◆2010/3末の連結子会社は13社(対前期末比+4社)、持分法適用関連会社は14社(対前期末比+1社)。非連結、持分法非適用の子会社・関連会社を含めると合計は132社(対前期末比△3社)。
- ◆当行単体と連結グループでの損益・財政状態の差異は僅少であり、損益計算書で0億円、貸借対照表で279億円の差。

		2010/3期		
(単位：億円)		連結	当行単体	連単差異
1	連結業務粗利益	1,218	1,199	18
2	資金利益	1,213	1,193	20
3	役務取引等利益	146	147	△1
4	その他業務利益	△141	△141	△0
5	営業経費	△350	△317	△33
6	連結業務純益（一般貸引繰入前）	867	882	△14
7	一般貸倒引当金繰入額（△は繰入）	—	—	—
8	連結業務純益（一般貸引繰入後）	867	882	△14
9	その他臨時損益（△は費用）	△348	△365	16
10	不良債権関連処理損失	△87	△87	0
11	株式関係損益	△235	△231	△3
12	持分法による投資損益	9	—	9
13	その他	△35	△45	10
14	経常利益（△は経常損失）	519	516	2
15	特別損益	△8	△10	2
16	貸倒引当金戻入益・取立益	45	45	—
17	投資損失引当金戻入益	11	9	2
18	本店移転損失引当金繰入額	△65	△65	—
19	税引等調整前当期純利益	511	506	4
20	法人税等	△108	△107	△0
21	少数株主利益（△は少数株主損失）	3	—	3
22	当期純利益	398	398	0

		2010/3期		
(単位：億円)		連結	当行単体	連単差異
1	現金預け金	1,686	1,283	403
2	有価証券	12,894	12,814	80
3	貸出金	135,146	135,380	△234
4	有形固定資産	1,622	1,621	1
5	支払承諾見返	1,921	1,951	△30
6	貸倒引当金	△2,034	△2,005	△28
7	その他	4,719	4,627	91
8	資産の部合計	155,957	155,672	284
9	債券・社債	37,463	37,463	—
10	借入金	90,824	90,794	30
11	その他	4,393	4,418	△24
12	負債の部合計	132,682	132,676	5
13	資本金	11,811	11,811	—
14	資本剰余金	10,604	10,604	—
15	利益剰余金	407	398	9
16	評価・換算差額金等合計	221	180	41
17	少数株主持分	229	—	229
18	純資産の部合計	23,275	22,995	279

9. 金融商品の時価開示について(連結)

- ◆資産については主として貸出金により、負債については債券・社債・借入金により、時価が連結貸借対照表計上額を上回り、各々5,696億円、1,849億円の差額が生じている。

(単位：億円)	2010/3末 連結BS計上額 (A)	時価(B)	差額(B)-(A)
現金預け金	1,686	1,686	—
コールローン及び買入手形	1,250	1,250	—
買現先勘定	1,799	1,799	—
有価証券	9,544	9,695	150
満期保有目的の債券	4,380	4,530	150
その他有価証券	5,164	5,164	—
貸出金（貸倒引当金控除後）	133,132	138,677	5,545
資産計	147,413	153,109	5,696
債券	35,042	35,907	865
コールマネー及び売渡手形	1,530	1,530	—
借入金	90,824	91,778	953
社債	2,421	2,451	30
負債計	129,818	131,667	1,849

10. 金融危機対応業務にかかる実績について

- ◆ 2008年10月1日：指定金融機関として危機対応業務を開始
- ◆ 2008年12月11日：金融危機対応融資業務を開始（当該業務実施期間は2011年3月末日まで）※1
- ◆ 2009年1月30日：金融危機対応業務としてのCP購入を開始 ※2
- ◆ 2009年9月24日：総額1,032億32百万円の増資
- ◆ 2010年3月23日：総額779億62百万円の増資
- ◆ 2010年3月末時点での危機対応業務関連累計融資額は3兆1,110億円（817件）※3
- ◆ 同時点での損害担保契約付累計融資額は2,335億円（33件）※4

※1 当初期間より1年間の延長措置。

※2 2010年3月末時点での累計CP購入額は3,610億円（68件）

※3 2008年12月以降の危機対応業務としての累計融資額であり、日本公庫からの信用供与を受けた金額実績。

※4 日本公庫へ申込予定のものを含む。

